



秋の大学院ガイダンス 開催報告 2023



学生支援センター未来人材育成部門では、9月20日と23日に、日本語と英語の両言語で、2023年秋入学の大学院新入生向けにガイダンスをそれぞれ1日に1回ずつ、2日間で計4回、オンライン（zoomウェビナー）で開催しました。このガイダンスの大きな特徴は、益学長、現役先輩学生、学修コンシェルジュ、キャリアアドバイザーが協働で講師を務めることです。ガイダンスの目的は、東工大の大学院生活に共通の内容を網羅的に新入生に伝えることで、新入生が長期的な大学院生活のビジョンを描けるようにし、また、東工大コミュニティに新入生を歓迎するものです。

今回のガイダンスは、春に引き続き学生支援センター未来人材育成部門の学修コンシェルジュ窓口とキャリア相談窓口が合同で開催し、前半30分で学修コンシェルジュから、履修と大学院生活全般の説明、後半でキャリアアドバイザーによる就職関連ガイダンス・留学生向けキャリア支援ガイダンスが行なわれました。開催時間は、日本語は2時間、英語は1時間50分でした。2023年度9月の大学院課程新入生は443人、うち留学生は316人です。2日間の参加者の内訳は、日本語ガイダンスで131名、英語でのガイダンスでは100名でした。日本を含む19の国と地域からの参加がありました。

各ガイダンスの冒頭部では、益学長がオンラインで登場し、「どんな小さなことでも良いので挑戦してください。」と力強いお祝いメッセージを話されました。新入生は、東工大Communityの一員となったことを実感できたと思います。

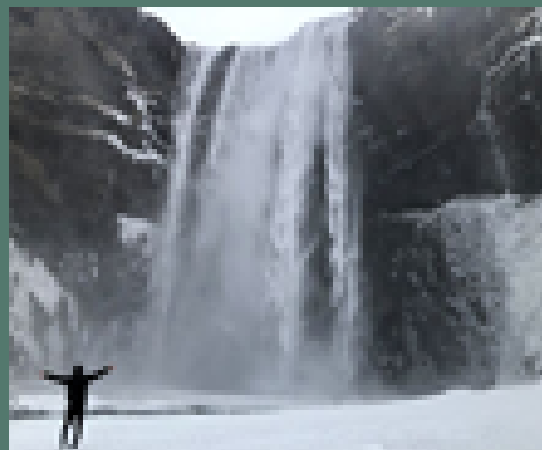
前半の学修コンシェルジュによるガイダンスでは、大学院生全員に共通のカリキュラムや履修の仕組み、および大学院課程の各種プログラム・教育課程、留学、経済支援、東工大の各種支援窓口などに関する情報を網羅的に紹介しました。後半のキャリア支援ガイダンスでは、キャリアカウンセリングの紹介に加えて、卒業生の具体的な就職先や就職活動のタイムラインが示されました。日本で就職活動を行う学生の中で理工系大学院生はマイノリティのため、情報の入手に困難があります。キャリアアドバイザーからは、東工大生の学業研究、就職、キャリアの特徴に特化した内容が伝えられました。

このあと、現役大学生・大学院生による学生生活に関するプレゼンテーションが行われました。日本語によるガイダンスでは、日本人学生2名、2日間で計4名、英語ガイダンスでは留学生1名、2日間で計2名が、大学・大学院生活で得たもの、頑張ったこと、日本の生活に慣れるためのヒント、日本語を学ぶ楽しさなど、自身で作成したスライドと共にわかりやすく・面白く体験を共有しました。長いガイダンスで疲れ気味の参加者にとって気分転換できる大事なパートとなりました。

先輩学生は、新入生にとって頼りになる貴重なロールモデルであり、先輩学生のプレゼンテーションを通じて、新入生達は前段のガイダンスの内容をより具体的に理解できたと思います。

学生プレゼンター濱岡遼真さん（写真上）
工学院機械系エネルギーコース 修士課程2年のコメント

磁石や磁性材料などを用いて冷却を行う磁気冷凍システムという。環境に優しい冷凍システムの実用化に関する研究を行っています。また学修コンシェルジュJr.として、学生向けの情報誌作成やイベントの開催に携わらせていただきました。大学院ガイダンスで私の修士2年間における研究や就職活動などのタイムラインを始めとして、就職活動の体験談や、私が通っているすずかけ台キャンパスの施設やその周辺施設の紹介をさせていただきました。ご入学された皆さんがこれからの予定を立てる上で、私の情報が少しでもお役に立てれば幸いです。



学生プレゼンター大友志穂さん（写真中）
環境・社会理工学院融合理工学系 学士課程4年 のコメント

5歳から10歳まで中国に住んでいた経験から、国際交流・理解や国際問題に興味を持ち、理系の分野から地球温暖化などの地球規模課題に取り組める融合理工学系への進学を決めました。現在は、肥料の原料として私たちの生活に大きく関わる「アンモニア」の、環境に優しい合成方法について研究を行っています。更に、同じ学生の立場から、留学生支援や日本人学生と留学生との交流の促進に関わりたいと考え、学修コンシェルジュJr.国際班としても活動しています。大学院ガイダンスでは、これまでの留学経験や、東工大での留学生との交流を紹介させていただきました。今後も、東工大での研究や様々な活動を通し異文化理解に努め、国際人として社会に貢献したいという自身の夢に向かって頑張っていきたいです。



学生プレゼンター野村綾乃さん（写真下）
工学院機械系エンジニアリングデザインコース 修士課程2年のコメント

大学院では、高齢者の転倒予防や自立を促進するための屋内環境を模索するため、高齢者の伝い歩き行動の計測をし、環境と動作の関連性について分析する研究を行っています。また、研究以外にも、主に学士1年生を対象にした相談活動を行う「ピアサポート活動」や、隔年で行われる全学向けのアンケート「学勢調査」の設問検討、集計、提言書作成を行っています。大学院ガイダンスでは、修士課程での1年半の生活を振り返り、具体的なスケジュールや取り組みを交え、私が自身の研究やキャリアにどのように向き合ってきたかについてお話ししました。



お問い合わせ先
学生支援センター未来人材育成部門
Email concierge.info@jim.titech.ac.jp
Tel 03-5734-2760